

大井川直轄河川改修事業

説明資料

平成26年7月4日

国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所

目 次

1. 事業の概要	
1) 流域の概要	1
2) 主要洪水	2
3) 事業の目的及び計画内容	3
2. 評価の視点	
1) 事業の必要性等に関する視点	
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	4
(2) 事業の投資効果	5
(3) 事業の進捗状況	6
3. 県への意見聴取結果	7
4. 対応方針(原案)	7

1. 事業の概要

1) 流域の概要

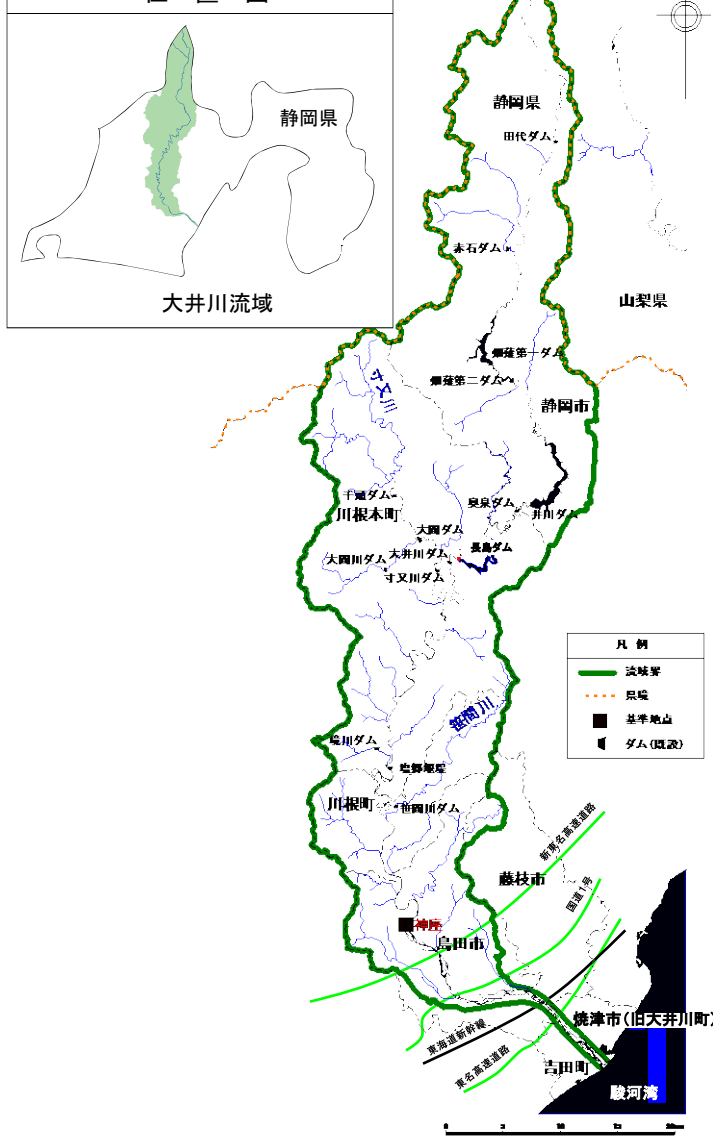
大井川は、静岡県の中部に位置し、その源を静岡県、長野県、山梨県の3県境に位置する間ノ岳(標高3,189m)に発し、静岡県の中央部を南北に貫流しながら寸又川、笹間川等の支川を合わせ、島田市付近から広がる扇状地を抜け、その後、駿河湾に注ぐ、幹川流路延長168km、流域面積1,280km²の一級河川です。

大井川流域は、島田市をはじめとする4市2町からなり、大井川下流に広がる扇状地には、国道1号、東名高速道路、新東名高速道路、JR東海道新幹線等の我が国の根幹をなす重要な交通網の拠点があり、さらには、大井川沿川には製紙業等の工場が立地するなど工場進出が進んでおり、この地域における社会・経済・文化の基盤をなしています。

- 流域面積 : 1,280km²
- 幹川流路延長 : 168km
- 流域内市町 : 4市2町
(静岡市、島田市、藤枝市、焼津市、吉田町、川根本町)
- 流域内人口 : 約9万人
- 年平均降水量 : 上中流部2,400~3,000mm、下流部2,000mm

大井川流域図

位置図



2) 主要洪水

過去の災害としては、昭和54年10月の台風20号等、台風に起因する洪水が多く、橋梁の流失、道路の寸断や浸水被害が発生しています。

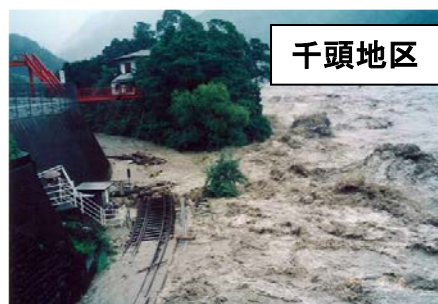
発生年月	気象要因	被害状況
昭和29年 9月	台風14号	床上浸水 1,040戸、床下浸水 2,100戸*1
昭和34年 9月	台風15号(伊勢湾台風)	床上浸水 17戸、床下浸水 357戸*2
昭和44年 8月	台風7号	浸水家屋 150戸、浸水面積 25ha
昭和54年10月	台風20号	浸水家屋 62戸、浸水面積 54ha
昭和57年 8月	台風10号	浸水家屋 204戸、浸水面積 92ha
平成 3年 9月	秋雨前線・台風18号	浸水家屋 70戸、浸水面積 16ha
平成15年 8月	台風10号	浸水家屋 1戸、浸水面積 4ha

被害:*1 静岡県異常気象災害誌より 焼津市、島田市(旧金谷町)の合計

*2 同 旧志太郡、焼津市、榛原郡の合計 その他は水害統計より



高郷地区



千頭地区



支川川根長尾川合流点付近

昭和57年8月台風10号出水



桑野山地区

平成3年9月秋雨前線・台風18号出水



通常時



出水時

平成23年9月5日 台風12号による出水
谷口橋(10km付近右岸下流)

3) 事業の目的及び計画内容

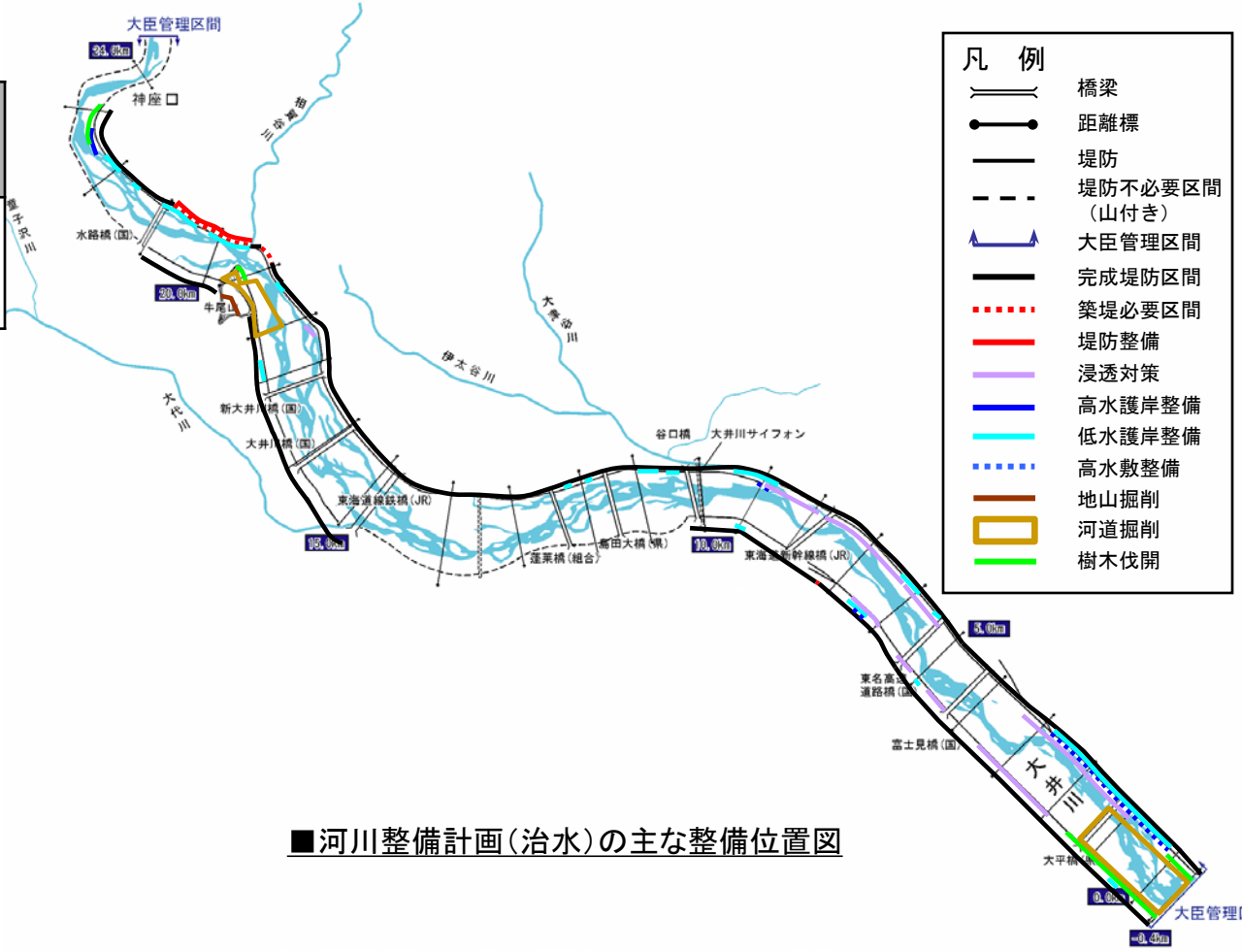
平成23年10月に策定された「大井川水系河川整備計画」において、河川整備基本方針の整備水準に向けて段階的に整備を進めることとし、大井川の大井川大臣管理区間における当面の整備目標は、基準地点の神座で概ね50年に1度経験するような流量(9,500m³/s)を既存の洪水調節施設で洪水調節することにより、河道では8,100m³/sを概ね安全に流下させることとしています。

■ 河川整備計画において目標とする河道整備流量

河川名	基準地点名	河川整備計画目標流量	洪水調節施設による洪水調整量	河道整備流量	備考
大井川	神座	9,500m ³ /s	1,400m ³ /s	8,100m ³ /s	概ね50年に1度経験するような流量規模

■ 河川整備計画(概ね30年間)での主な整備内容

整備項目	全体
河道掘削	526千m ³
地山掘削	220千m ³
堤防整備	3.0km
高水護岸整備	2.0km
低水護岸整備	8.1km
高水敷整備	120千m ³
浸透対策	9.9km
樋管の新設	2箇所



■ 河川整備計画(治水)の主な整備位置図

3. 評価の視点

1) 事業の必要性に関する視点

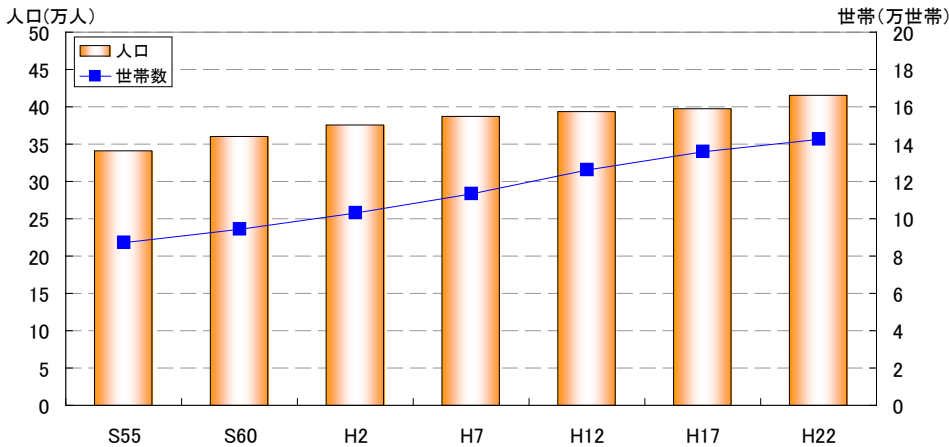
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

流域の人口・世帯数は、増加傾向にあります。

流域には、製薬、化学、食品加工業の工場が多く立地し、東名高速道路やJR東海道新幹線等、日本経済の基盤をなす重要交通網が集中しており、平成24年度には、新東名高速道路が供用され、一層の経済活動等が見込まれています。

■ 流域市町村の人口の推移

■ 流域の主要交通網



人口・世帯数の変遷(島田市・藤枝市・吉田町・焼津市)

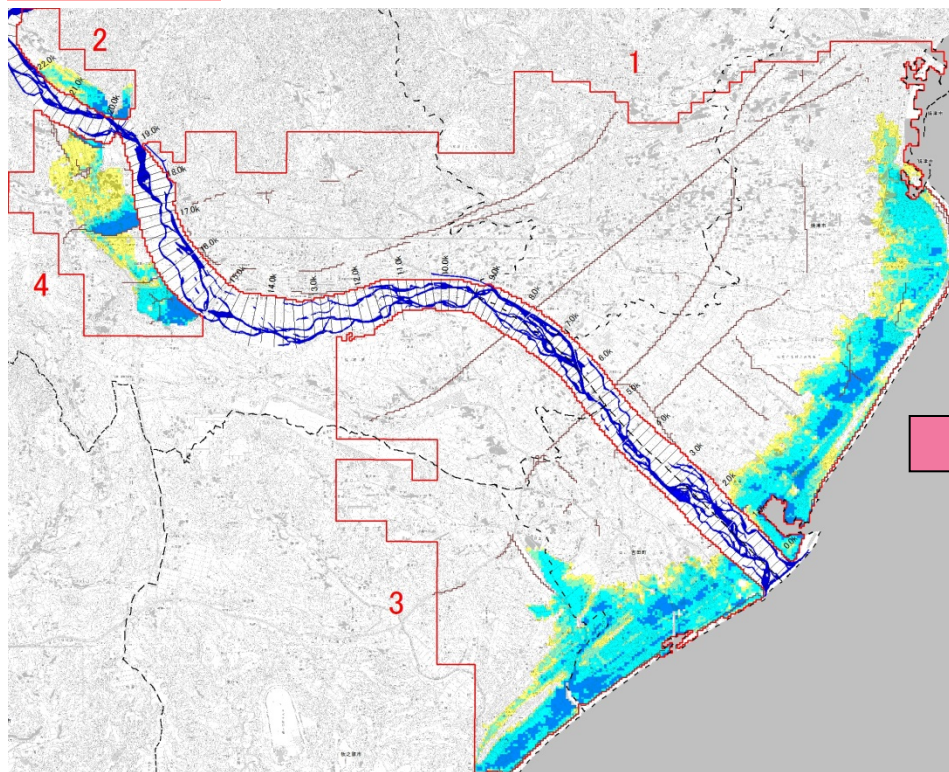
(出典：国勢調査)



(2) 事業の投資効果

河川整備計画の規模の降雨により想定される氾濫被害は、浸水面積約2,860ha、浸水人口5.2万人、浸水家屋数約1.7万世帯であり、河川整備計画を実施することで氾濫被害は解消されます。

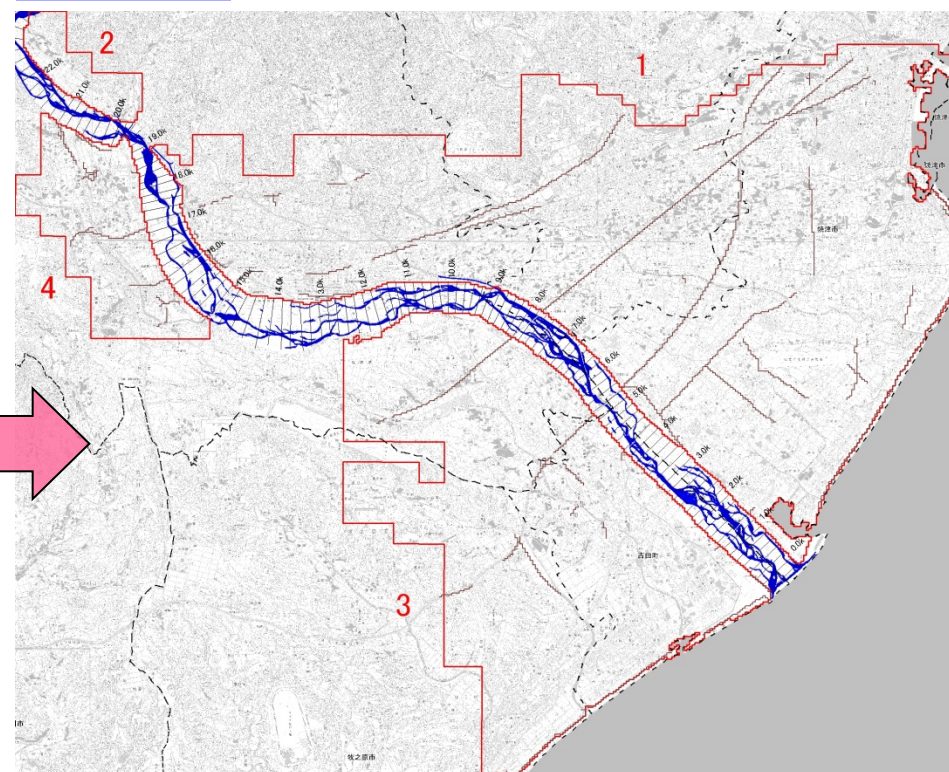
事業実施前



段階	想定被害	
	被害額(億円)	浸水面積(ha)
着手時(H23年度)	6,135	2,860

事業実施前の氾濫想定図(河川整備計画目標規模)

事業実施後



段階	想定被害	
	被害額(億円)	浸水面積(ha)
整備後(H52年度)	0	0

事業実施後の氾濫想定図(河川整備計画目標規模)

(2) 事業の進捗状況

大井川では、基準地点の神座で年超過確率1/50に相当する流量を安全に流下させるため、地山掘削、低水護岸整備を重点的に進めており、河川整備計画に計上されている事業の進捗率は事業費ベースで29%程度です。



■河川整備計画にて計上された事業の実施状況

整備項目	全体	完了	残事業
河道掘削	526千m ³	0千m ³	526千m ³
地山掘削	220千m ³	130千m ³	90千m ³
堤防整備	3.0km	0.0km	0.0km
高水護岸整備	2.0km	0.0km	0.0km
低水護岸整備	8.1km	0.9km	7.2km
高水敷整備	120千m ³	0千m ³	120千m ³
浸透対策	9.9km	0.0km	9.9km
樋管の新設	2箇所	0箇所	2箇所

平成27年3月末時点

低水護岸整備(源助～宝来町地区)



3. 県への意見聴取結果

静岡県への意見聴取の結果は、以下のとおりです。

(静岡県)

大井川は静岡県中部に位置し、その源を静岡県、長野県、山梨県の3県境に位置する間ノ岳に発し、南北を貫流しながら寸又川、笹間川等の支川を合わせ、島田市付近から広がる扇状地を抜け駿河湾に注いでいます。

本事業は、河道掘削や堤防等を整備することで、高速道路や主要国道、幹線鉄道が通る交通の要衝を有する島田市などの大井川下流域の洪水被害を軽減する、大変重要な事業です。

今後も、コスト縮減の徹底とともに、効果が十分に発現できるよう事業の推進をお願いします。

また、各年度の実施に当たっては、引き続き、県と十分な調整をお願いします。

4. 対応方針(原案)

以上のことから、大井川水系河川整備計画に基づく、大井川直轄河川改修事業を継続していきます。